



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年7月29日

上場会社名 ペガサスミシン製造株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6262 URL <https://www.pegasus.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 美馬 成望
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役執行役員管理本部長 (氏名) 吉田 泰三 (TEL) 06(6451)1351
 四半期報告書提出予定日 2020年8月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	3,294	△25.8	△230	—	△134	—	△213	—
2020年3月期第1四半期	4,441	△14.2	216	△68.6	83	△88.6	△152	—

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期△675百万円(—%) 2020年3月期第1四半期 23百万円(△37.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	△8.59	—
2020年3月期第1四半期	△6.15	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	28,521	20,888	70.9
2020年3月期	29,719	21,737	70.9

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 20,222百万円 2020年3月期 21,070百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	13.00	—	7.00	20.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 1 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2 2021年3月期の中間及び期末配当予想は未定であります。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

新型コロナウイルス感染症の拡大による業績への影響を現段階では合理的に算定することが困難であることから、2021年3月期の業績予想を未定とし、予想が可能となった時点で速やかに開示することといたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	24,828,600株	2020年3月期	24,828,600株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	17,944株	2020年3月期	17,944株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	24,810,656株	2020年3月期1Q	24,810,656株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

新型コロナウイルス感染症の拡大による業績への影響を合理的に算定することが困難であることから、2021年3月期の業績予想を未定とし、予想が可能となった時点で速やかに開示することといたします。
 四半期決算補足説明資料は、2020年8月17日(月)に当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で経済活動が停滞し、深刻な景気後退に陥りました。

日本経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大により外需が落ち込んだことで輸出が急速に減少し、内需は外出や営業の自粛等により消費が著しく減少するなど、厳しい経済環境となりました。

工業用ミシンにおきましては、米中対立の長期化の影響や、消費者の環境問題意識の高まりを受けてのアパレル企業の適量生産、在庫計画の見直しなどにより発注量の絞り込みが継続するなど、設備投資に対しては慎重な姿勢が見られ、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う経済活動の停滞などもあり販売は低調に推移しました。自動車部品を中心とするダイカスト部品につきましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による自動車生産減少の影響を受けました。

このような環境のもとで、当第1四半期連結累計期間の売上高は32億94百万円（前年同四半期比25.8%減）、営業損益は2億30百万円の損失（前年同四半期は営業利益2億16百万円）となりました。経常損益は1億34百万円の損失（前年同四半期は経常利益83百万円）となり、親会社株主に帰属する四半期純損益は2億13百万円の損失（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失1億52百万円）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(工業用ミシン)

工業用ミシンにつきましては、価格戦略機種による新規市場開拓や小型モーターを搭載した省エネ機種の拡販、生産性の向上に貢献する高機能製品の提案活動に努めてまいりましたが、設備投資に慎重な姿勢が見られ、売上高は26億83百万円（前年同四半期比28.4%減）、セグメント利益は32百万円（前年同四半期比94.0%減）となりました。

(ダイカスト部品)

ダイカスト部品につきましては、販路拡大に向けた販売活動を継続しておりますが、売上高は6億11百万円（前年同四半期比11.9%減）、コスト削減などによりセグメント利益は18百万円（前年同四半期はセグメント損失34百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて7億6百万円減少し、191億95百万円となりました。これは、現金及び預金が8億32百万円減少し、商品及び製品が1億65百万円増加したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて4億91百万円減少し、93億26百万円となりました。これは、有形固定資産が4億8百万円減少したことなどによります。

この結果、総資産は前連結会計年度末に比べて11億97百万円減少し、285億21百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて1億57百万円減少し、46億66百万円となりました。これは、その他が90百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて1億91百万円減少し、29億67百万円となりました。これは、その他が1億円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べて3億48百万円減少し、76億33百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて8億49百万円減少し、208億88百万円となりました。これは、利益剰余金が3億86百万円、為替換算調整勘定が4億51百万円それぞれ減少したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により世界的に経済活動が停滞し、未だに終息時期も見通せない状況であります。

このような状況の中、現段階において、当期の業績予想を合理的に算定することが非常に困難であります。従いまして、業績予想を引き続き未定とし、予想が可能となった時点で速やかに開示することといたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,998,703	5,165,741
受取手形及び売掛金	3,856,634	3,843,986
有価証券	42,145	—
商品及び製品	5,180,204	5,345,731
仕掛品	658,289	708,567
原材料及び貯蔵品	3,757,987	3,717,768
その他	443,052	450,592
貸倒引当金	△35,142	△36,691
流動資産合計	19,901,874	19,195,695
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,081,197	4,936,964
その他(純額)	3,825,958	3,561,455
有形固定資産合計	8,907,156	8,498,420
無形固定資産		
投資その他の資産	537,213	518,963
固定資産合計	373,606	308,881
資産合計	9,817,976	9,326,264
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,243,110	1,271,363
短期借入金	2,118,425	2,048,020
未払法人税等	45,535	33,178
賞与引当金	92,434	79,386
その他	1,324,475	1,234,374
流動負債合計	4,823,982	4,666,323
固定負債		
長期借入金	1,639,361	1,543,852
退職給付に係る負債	567,518	572,651
その他	951,347	850,577
固定負債合計	3,158,226	2,967,081
負債合計	7,982,208	7,633,405

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,255,553	2,255,553
資本剰余金	2,983,084	2,983,084
利益剰余金	15,170,265	14,783,499
自己株式	△5,350	△5,350
株主資本合計	20,403,553	20,016,786
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	21,867	7,602
為替換算調整勘定	732,104	281,064
退職給付に係る調整累計額	△87,273	△82,711
その他の包括利益累計額合計	666,698	205,955
非支配株主持分	667,390	665,812
純資産合計	21,737,641	20,888,554
負債純資産合計	29,719,850	28,521,959

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	4,441,134	3,294,879
売上原価	3,042,230	2,475,031
売上総利益	1,398,904	819,847
販売費及び一般管理費	1,182,422	1,050,509
営業利益又は営業損失(△)	216,481	△230,661
営業外収益		
受取利息	6,482	1,924
受取配当金	2,054	1,387
為替差益	—	46,207
助成金収入	330	62,020
その他	5,064	2,803
営業外収益合計	13,931	114,341
営業外費用		
支払利息	15,112	16,030
為替差損	130,919	—
その他	1,123	2,453
営業外費用合計	147,155	18,484
経常利益又は経常損失(△)	83,257	△134,803
特別利益		
固定資産売却益	430	—
投資有価証券償還益	—	22,090
特別利益合計	430	22,090
特別損失		
固定資産売却損	837	—
投資有価証券評価損	25,741	—
特別損失合計	26,579	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	57,109	△112,713
法人税、住民税及び事業税	87,159	28,051
法人税等調整額	117,027	62,681
法人税等合計	204,187	90,732
四半期純損失(△)	△147,078	△203,446
非支配株主に帰属する四半期純利益	5,545	9,645
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△152,623	△213,092

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純損失(△)	△147,078	△203,446
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	16,046	△14,264
為替換算調整勘定	156,265	△462,263
退職給付に係る調整額	△1,686	4,562
その他の包括利益合計	170,626	△471,966
四半期包括利益	23,547	△675,412
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,961	△673,834
非支配株主に係る四半期包括利益	13,586	△1,578

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(固定資産の譲渡)

当社は、2020年7月29日開催の当社取締役会において、固定資産の譲渡を決議いたしました。

1. 譲渡の理由

当社経営資源の有効活用を図るため、譲渡を決議いたしました。

2. 譲渡資産の内容

資産の内容及び所在地	譲渡損 (特別損失)	現況
・土地:843.25㎡ ・建物:1,457.3㎡(延床面積) ・住所:大阪市福島区鷺洲五丁目9-22、他	310百万円	事務所

(注)譲渡価格及び帳簿価格につきましては、譲渡先との守秘義務により開示は控えさせていただきますが、市場価格を反映した適正な価格での譲渡となっております。

3. 譲渡先の概要

商号	エスリード株式会社
本店所在地	大阪市福島区福島六丁目25番19号
設立年月日	1992年5月8日
代表者	荒牧 杉夫
資本金	1,983百万円
主な事業内容	マンション分譲事業、建替え分譲事業 他
当社との関係	資本関係、人的関係及び取引関係はありません。

4. 譲渡の日程

取締役会決議日 : 2020年7月29日
 契約締結日 : 2020年7月30日(予定)
 物件引渡期日 : 2020年8月11日(予定)

5. 当該事象の損益に与える影響額

当該事象により、2021年3月期(2020年4月1日から2021年3月31日まで)第2四半期の決算において、上記特別損失を計上する予定であります。